

2025年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年4月14日

上場会社名 株式会社スタジオアリス 上場取引所 東
 コード番号 2305 URL http://www.studio-alice.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 俊介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 中井 俊宏 TEL 06-6343-2600
 定時株主総会開催予定日 2025年5月27日 配当支払開始予定日 2025年5月28日
 有価証券報告書提出予定日 2025年5月28日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：有 アナリスト

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期の連結業績（2024年3月1日～2025年2月28日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期	35,598	△2.2	3,021	32.3	3,051	31.4	1,365	17.9
2024年2月期	36,396	△5.6	2,283	△43.2	2,322	△42.1	1,157	△48.7

(注) 包括利益 2025年2月期 1,306百万円 (△19.3%) 2024年2月期 1,619百万円 (△26.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年2月期	80.38	—	4.6	7.3	8.5
2024年2月期	68.15	—	3.9	5.4	6.3

(参考) 持分法投資損益 2025年2月期 ー百万円 2024年2月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期	41,223	31,073	72.2	1,753.35
2024年2月期	42,346	30,956	70.1	1,747.06

(参考) 自己資本 2025年2月期 29,778百万円 2024年2月期 29,672百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年2月期	6,336	△2,516	△2,678	19,056
2024年2月期	5,699	△3,603	△1,640	17,921

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年2月期	—	0.00	—	70.00	70.00	1,188	102.7	4.0
2025年2月期	—	0.00	—	50.00	50.00	849	62.2	2.9
2026年2月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00		58.6	

3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,780	△5.1	2,870	△5.0	2,870	△5.9	1,450	6.2	85.38

(注) 当連結グループの売上高は11月前後の七五三の時期に集中することから下半期に偏重しており、上半期の業績予測が極めて困難な状況にあります。したがって、第2四半期連結累計期間の業績予想を公表していません。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年2月期	17,185,650株	2024年2月期	17,185,650株
2025年2月期	201,830株	2024年2月期	201,706株
2025年2月期	16,983,868株	2024年2月期	16,983,944株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、実際の実績等は今後発生するさまざまな要因により大きく異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、3ページ「③ 今後の見通し」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(会計上の見積りの変更に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する分析

① 当連結会計年度の経営成績

当連結会計年度のわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加等により緩やかな回復が見られた一方、物価上昇、長期化する国際情勢、金融資本市場の変動など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは主力である写真事業において、競合他社との差別化強化を図り、お客様に選んでいただけるお店になるための取り組みをおこなってまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は35,598百万円（前年同期比2.2%の減少）、営業利益は3,021百万円（前年同期比32.3%の増加）、経常利益は3,051百万円（前年同期比31.4%の増加）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,365百万円（前年同期比17.9%の増加）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(写真事業)

写真事業は、引き続き成人式撮影・振袖レンタルサービス『ふりホ』のご予約獲得、並びに、『ふりホ』をご予約された方の成人式前撮り撮影を推し進めるとともに、1歳以下の赤ちゃん撮影の増加等に注力いたしました。また、マーケットの変化へ対応すべく、一部地域で撮影画像のみを販売するプランを実験的に導入いたしました。そのほか、経営効率の向上を目的とした最適な立地への移転や店舗統廃合の実施、並びに、労働生産性の向上に努めるとともに、フォトサービス事業においても、お宮参り撮影や七五三撮影等の出張撮影エリアを更に拡げ、収益向上に努めました。

こども写真館の出店状況は、移転3店舗を含み5店舗出店、退店31店舗を行い、ショッピングセンター内の区画移動を含む改装を15店舗実施いたしました。

その結果、当連結会計期間末の店舗数は、こども写真館419店舗（直営店舗410店・フランチャイズ店舗9店）となっております。

以上の結果、報告セグメントにおける写真事業の売上高は35,432百万円（前年同期比2.4%の減少）となり、セグメント利益は2,870百万円（前年同期比31.6%の増加）となりました。

(衣装製造卸売事業)

衣装製造卸売事業は、連結子会社の株式会社京都豊匠、および、その子会社である上海豊匠服飾有限公司において、当社向け成人式用振袖着物の仕入コストの低減、並びに、こども用衣装の生産コストの低減を図るとともに、当社グループ以外の販売先の獲得に注力いたしました。

以上の結果、衣装製造卸売事業の売上高は1,883百万円（前年同期比14.9%の減少）、セグメント利益は11百万円（前年同期比91.2%の減少）となりました。

② 売上高の季節変動について

こども写真業界の収益構造は七五三の記念撮影が10月～11月に集中し、年間売上高の約4分の1を占めるため下半期に売上が偏重する傾向にあります。当社はこれを是正すべく、お誕生日に撮る七五三として「Happy Birthday 七五三」の推進やマタニティ撮影等を契機としたお宮参り、百日記念の撮影につなげていくことで営業の平準化を図っております。

③ 今後の見通し

当社グループは、次期の経営方針を「チャレンジ！」としてスタートいたしました。写真館事業において、「お客様（マーケット）の変化への対応」を推し進め、お客様のニーズの変化に対応した新たなサービスの提供にチャレンジしてまいります。また、引き続き成人式撮影・振袖レンタルサービス『ふりホ』のご成約件数やマタニティ・赤ちゃん撮影の件数の増加、並びに、スクールフォト事業の新規契約施設数の増加を図るとともに、店舗統廃合の推進や人時生産性の維持、向上等に努め、費用構造の適正化に取り組んでまいります。

次期の連結業績予想につきましては、売上高33,780百万円、営業利益2,870百万円、経常利益2,870百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,450百万円を見込んでおります。

〔業績の推移〕

(単位：百万円)

	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期
売上高	40,672	38,564	36,396	35,598
経常利益	6,032	4,009	2,322	3,051
親会社株主に帰属する当期純利益	3,614	2,257	1,157	1,365

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における総資産は41,223百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,123百万円減少しました。負債は10,150百万円、純資産（非支配株主持分を除く）は29,778百万円であり、自己資本比率は72.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,135百万円増加し19,056百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、主に税金等調整前当期純利益2,288百万円、減価償却費3,752百万円、法人税等の支払額478百万円などにより、前連結会計年度に比べ636百万円増加し6,336百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、主に写真スタジオの新規出店及び既存店の移転・改装・設備追加等にかかる支出2,179百万円、写真生産施設・機械・設備等にかかる支出で374百万円、衣装製造工場・機械・設備等にかかる支出39百万円などにより、前連結会計年度に比べ1,087百万円減少し2,516百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、主にセール・アンド・リースバックによる収入936百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出2,426百万円、配当金の支払額1,188百万円などにより、前連結会計年度に比べ1,038百万円増加し2,678百万円となりました。

キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期
自己資本比率 (%)	67.7	70.1	72.2
時価ベースの 自己資本比率 (%)	80.8	81.4	83.0
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	1.2	0.7	0.4
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	166.5	261.7	298.4

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

2. 営業キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する利益還元につきましては、重要な経営課題として認識しており、業績に応じた、安定的な利益還元を行うことを基本方針としております。目標配当性向を親会社株主等に帰属する当期純利益の33.3%とし、その安定的実現を目指してまいります。

これらにより長期保有をしていただく株主の皆様のご期待にお応えする一方、財務体質の安定強化及び将来の新たな成長に繋がる投資等に備えるために、内部留保を充実させることも必要であると考えております。内部留保資金につきましては、経営体質の一層の充実、並びに将来の事業展開に役立てます。

この基本方針等に基づき、当期の配当金につきましては、期末配当金を1株につき50円とする予定にしております。また、次期の配当金につきましても、上記の基本方針等に基づき1株につき50円（期末配当金）を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当連結会計年度 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,382,187	19,517,254
受取手形及び売掛金	986,076	926,237
商品及び製品	281,996	225,700
仕掛品	282,322	243,341
原材料及び貯蔵品	1,459,735	1,371,538
その他	1,402,111	1,042,983
貸倒引当金	△15,411	△11,391
流動資産合計	22,779,019	23,315,665
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,208,544	16,029,704
減価償却累計額	△9,604,191	△9,867,270
建物及び構築物(純額)	6,604,353	6,162,433
機械装置及び運搬具	3,095,581	3,121,187
減価償却累計額	△2,209,364	△2,455,296
機械装置及び運搬具(純額)	886,216	665,890
工具、器具及び備品	4,230,223	4,196,817
減価償却累計額	△3,371,884	△3,345,775
工具、器具及び備品(純額)	858,338	851,041
土地	1,108,687	1,108,687
リース資産	6,284,067	4,223,346
減価償却累計額	△3,407,422	△2,446,511
リース資産(純額)	2,876,645	1,776,834
建設仮勘定	1,419	17,778
有形固定資産合計	12,335,661	10,582,665
無形固定資産		
のれん	826	506
その他	1,078,784	983,732
無形固定資産合計	1,079,611	984,239
投資その他の資産		
投資有価証券	1,864,546	1,779,666
長期貸付金	2,012	1,662
繰延税金資産	1,113,381	1,031,888
敷金及び保証金	3,153,722	3,036,887
長期前払費用	20,699	492,459
その他	300	300
貸倒引当金	△2,012	△1,662
投資その他の資産合計	6,152,650	6,341,202
固定資産合計	19,567,923	17,908,107
資産合計	42,346,943	41,223,773

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当連結会計年度 (2025年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	261,629	236,320
リース債務	2,248,437	1,576,022
未払法人税等	214,396	576,623
賞与引当金	197,270	186,278
ポイント引当金	120,430	115,790
未払費用	1,044,873	986,505
その他	2,115,465	2,176,457
流動負債合計	6,202,503	5,853,997
固定負債		
リース債務	1,822,173	945,132
資産除去債務	1,940,740	2,143,827
退職給付に係る負債	1,235,595	1,113,243
その他	189,886	94,254
固定負債合計	5,188,396	4,296,458
負債合計	11,390,900	10,150,456
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	25,208,178	25,384,417
自己株式	△276,578	△276,837
株主資本合計	28,872,998	29,048,979
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	568,380	509,513
為替換算調整勘定	230,659	220,072
その他の包括利益累計額合計	799,039	729,585
非支配株主持分	1,284,004	1,294,752
純資産合計	30,956,043	31,073,317
負債純資産合計	42,346,943	41,223,773

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
売上高	36,396,115	35,598,139
売上原価	28,061,583	27,254,058
売上総利益	8,334,531	8,344,080
販売費及び一般管理費	6,050,775	5,322,758
営業利益	2,283,756	3,021,322
営業外収益		
受取利息	936	751
受取配当金	27,133	32,944
受取家賃	20,164	20,296
貯蔵品売却益	25,440	1,887
雑収入	20,530	33,187
営業外収益合計	94,205	89,066
営業外費用		
支払利息	21,778	21,235
為替差損	9,680	15,252
子会社清算損	19,406	-
延滞税等	-	19,704
雑損失	4,334	3,070
営業外費用合計	55,198	59,262
経常利益	2,322,762	3,051,126
特別利益		
固定資産売却益	335	8,376
その他	310	-
特別利益合計	645	8,376
特別損失		
固定資産廃棄損	129,482	36,622
固定資産売却損	1,573	-
減損損失	274,451	348,391
支払補償金	3,616	154,719
工場閉鎖損失	-	37,583
違約金等	-	193,639
特別損失合計	409,123	770,955
税金等調整前当期純利益	1,914,284	2,288,547
法人税、住民税及び事業税	684,810	805,178
法人税等調整額	69,558	107,311
法人税等合計	754,368	912,490
当期純利益	1,159,915	1,376,057
非支配株主に帰属する当期純利益	2,474	10,942
親会社株主に帰属する当期純利益	1,157,440	1,365,115

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
当期純利益	1,159,915	1,376,057
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	423,337	△58,906
為替換算調整勘定	36,409	△10,587
その他の包括利益合計	459,747	△69,494
包括利益	1,619,662	1,306,563
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,617,116	1,295,660
非支配株主に係る包括利益	2,546	10,902

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,885,950	2,055,449	25,239,613	△276,578	28,904,434
当期変動額					
剰余金の配当			△1,188,876		△1,188,876
親会社株主に帰属する当期純利益			1,157,440		1,157,440
自己株式の取得					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△31,435	-	△31,435
当期末残高	1,885,950	2,055,449	25,208,178	△276,578	28,872,998

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	145,114	194,250	339,364	1,281,457	30,525,256
当期変動額					
剰余金の配当					△1,188,876
親会社株主に帰属する当期純利益					1,157,440
自己株式の取得					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	423,265	36,409	459,675	2,546	462,221
当期変動額合計	423,265	36,409	459,675	2,546	430,786
当期末残高	568,380	230,659	799,039	1,284,004	30,956,043

当連結会計年度（自 2024年3月1日 至 2025年2月28日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,885,950	2,055,449	25,208,178	△276,578	28,872,998
当期変動額					
剰余金の配当			△1,188,876		△1,188,876
親会社株主に帰属する当期純利益			1,365,115		1,365,115
自己株式の取得				△258	△258
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	-	176,239	△258	175,980
当期末残高	1,885,950	2,055,449	25,384,417	△276,837	29,048,979

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	568,380	230,659	799,039	1,284,004	30,956,043
当期変動額					
剰余金の配当					△1,188,876
親会社株主に帰属する当期純利益					1,365,115
自己株式の取得					△258
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△58,866	△10,587	△69,454	10,747	△58,706
当期変動額合計	△58,866	△10,587	△69,454	10,747	117,274
当期末残高	509,513	220,072	729,585	1,294,752	31,073,317

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,914,284	2,288,547
減価償却費	4,248,429	3,752,743
減損損失	274,451	348,391
のれん償却額	653	320
貸倒引当金の増減額(△は減少)	709	△4,370
受取利息及び受取配当金	△28,069	△33,695
支払利息	21,778	21,235
為替差損益(△は益)	△60	△398
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,471	△10,959
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△100	△4,640
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	15,045	△122,352
固定資産廃棄損	129,482	36,622
固定資産売却損益(△は益)	1,238	△8,376
売上債権の増減額(△は増加)	88,926	59,634
棚卸資産の増減額(△は増加)	67,039	179,490
仕入債務の増減額(△は減少)	△55,517	△24,979
未払消費税等の増減額(△は減少)	111,553	172,613
前受金の増減額(△は減少)	△100,971	△12,594
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1,340	196,922
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△90,674	△106,350
その他	58,439	△39,923
小計	6,653,827	6,687,880
利息及び配当金の受取額	27,372	33,695
利息の支払額	△21,778	△21,235
法人税等の支払額	△1,064,758	△478,328
法人税等の還付額	104,587	114,135
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,699,250	6,336,147
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3	△3
有形固定資産の取得による支出	△3,054,909	△1,681,137
有形固定資産の売却による収入	801	10,008
貸付金の回収による収入	349	349
無形固定資産の取得による支出	△446,306	△330,117
敷金及び保証金の差入による支出	△108,293	△93,091
敷金及び保証金の回収による収入	150,689	202,352
その他	△146,136	△624,414
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,603,808	△2,516,054

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
セール・アンド・リースバックによる収入	2,113,341	936,613
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,564,874	△2,426,307
自己株式の取得による支出	-	△258
配当金の支払額	△1,188,876	△1,188,876
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,640,409	△2,678,827
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,867	△6,201
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	469,900	1,135,063
現金及び現金同等物の期首残高	17,451,762	17,921,662
現金及び現金同等物の期末残高	17,921,662	19,056,726

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

資産除去債務の見積りの変更

当連結会計年度において、当社の出店契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、店舗の退去時に必要とされる原状回復費用に関する新たな情報の入手に伴い、原状回復費用に関して見積りの変更を行いました。

この見積りの変更による増加額265,443千円を変更前の資産除去債務残高に加算するとともに、同時に計上した有形固定資産について40,374千円を減損損失として特別損失に計上いたしました。また、翌連結会計年度の損益に与える影響は116,905千円であります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループはサービス及び製品別のセグメントから構成されており、スタジオ写真の撮影・制作・加工、ディスプレイ制作、印刷等を行う「写真事業」、撮影用衣装等の制作・販売等を行う「衣装製造卸売事業」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格等に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2023年3月1日 至 2024年2月29日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造 卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	36,287,664	108,451	36,396,115	-	36,396,115
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,513	2,104,361	2,106,874	△2,106,874	-
計	36,290,177	2,212,812	38,502,989	△2,106,874	36,396,115
セグメント利益	2,181,791	129,830	2,311,622	△27,866	2,283,756
セグメント資産	41,039,066	1,714,820	42,753,887	△406,943	42,346,943
その他の項目					
減価償却費	4,852,687	37,849	4,890,537	△642,107	4,248,429
減損損失	274,451	-	274,451	-	274,451
のれんの償却額	653	-	653	-	653
のれんの未償却残高	826	-	826	-	826
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	4,212,537	15,239	4,227,777	△459,837	3,767,939

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) 売上高△2,106,874千円は、セグメント間取引の消去の額であります。
- (2) セグメント利益△27,866千円には、固定資産の調整額等210,950千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△238,816千円が含まれております。
- (3) セグメント資産△406,943千円には、セグメント間取引の消去に関わる調整額△883,397千円、各報告セグメントに配分していない全社資産476,453千円が含まれております。
- (4) 減価償却費△642,107千円は、セグメント間取引の消去の額であります。
- (5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額△459,837千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2024年3月1日 至 2025年2月28日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造 卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,432,027	166,111	35,598,139	-	35,598,139
セグメント間の内部 売上高又は振替高	112	1,717,216	1,717,328	△1,717,328	-
計	35,432,139	1,883,327	37,315,467	△1,717,328	35,598,139
セグメント利益	2,870,172	11,450	2,881,623	139,699	3,021,322
セグメント資産	39,835,786	1,588,586	41,424,373	△200,599	41,223,773
その他の項目					
減価償却費	4,337,181	35,918	4,373,099	△602,376	3,770,723
減損損失	348,391	-	348,391	-	348,391
のれんの償却額	320	-	320	-	320
のれんの未償却残高	506	-	506	-	506
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	3,098,719	39,019	3,137,738	△293,744	2,843,994

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) 売上高△1,717,328千円は、セグメント間取引の消去の額であります。
 - (2) セグメント利益139,699千円には、固定資産の調整額等336,871千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△197,172千円が含まれております。
 - (3) セグメント資産△200,599千円には、セグメント間取引の消去に関わる調整額△672,542千円、各報告セグメントに配分していない全社資産471,943千円が含まれております。
 - (4) 減価償却費△602,376千円は、セグメント間取引の消去の額であります。
 - (5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額△293,744千円は、セグメント間取引の消去の額であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2023年3月1日 至 2024年2月29日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%に満たないため、主要な顧客ごとの情報の記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2024年3月1日 至 2025年2月28日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%に満たないため、主要な顧客ごとの情報の記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年3月1日 至 2024年2月29日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2024年3月1日 至 2025年2月28日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年3月1日 至 2024年2月29日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2024年3月1日 至 2025年2月28日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年3月1日 至 2024年2月29日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年3月1日 至 2025年2月28日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
1株当たり純資産額	1,747.06円	1,753.35円
1株当たり当期純利益金額	68.15円	80.38円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	1,157,440	1,365,115
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	1,157,440	1,365,115
普通株式の期中平均株式数(株)	16,983,944	16,983,868

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
純資産の部の合計額(千円)	30,956,043	31,073,317
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	1,284,004	1,294,752
(うち非支配株主持分)(千円)	(1,284,004)	(1,294,752)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	29,672,038	29,778,564
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	16,983,944	16,983,820

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社グループの連結子会社である株式会社JVISは、2025年3月7日開催の臨時株主総会において、会社法第156条第1項の規定に基づき自己株式の取得に係る事項を決議し、自己株式の取得を以下のとおり実施いたしました。

自己株式の取得に係る決議の内容

(1) 自己株式の取得を行う理由

親会社のみが株主となる構造を目指し、これにより経営の効率化と意思決定の迅速化を図ることを目的とするものであります。

(2) 自己株式の取得に係る事項の内容

- ①取得する株式の種類 株式会社JVIS普通株式
- ②取得する株式の総数 300株
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合11.4%)
- ③株式の取得価額の総額 1,285,568千円
- ④取得期間 2025年3月31日
- ⑤取得方法 特定の株主からの取得

自己株式の取得結果

上記買い付けによる取得の結果、2025年3月31日に株式会社JVIS普通株式300株を1,285,568千円で取得し、当該決議に基づく自己株式の取得を終了いたしました。